

国保特定健診のご案内

～これまでの特定健診、これからの課題～

平成 20 年から国民健康保険（国保）加入者を対象とした特定健診が始まり、7 年が経過しました。近年の診療報酬明細（レセプト）等の電子化の進展や国保データベースシステム（KDB）等の整備により、市などが健康や医療に関する情報を活用して国保加入者の健康課題の分析、保健事業の評価を行うことが可能となり、全国や全道、同規模市との比較ができるようになりました。そこから砂川市の健康実態や医療費の実態、今後の課題が見え、あらためて健診の重要性が明らかになりました。

平成 25 年 6 月 14 日に閣議決定された日本再興戦略の中でも、健康寿命の延伸は大きな柱となっており、一人ひとりがより健康な状態で長生きできるよう、特定健診を中心とした予防活動が重要となります。

◎砂川市国保の特定健診受診状況

砂川市の平成 25 年までの健診受診率は、国保加入者の皆様のご協力により 35%前後で推移してきました。同 25 年度からは治療中の方に情報提供のご協力をいただき受診率は上がりましたが、まだ 3 人に 1 人しか受診していないのが現状です。また、市では健診受診後、全員に保健指導を行っており、保健指導率は 60～70%を維持しています。

	特定健診				特定保健指導			
	砂川市			北海道の 受診率 (%)	砂川市			北海道の 実施率 (%)
	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)		対象者数 (人)	実施数 (人)	実施率 (%)	
H20年度	3,774	1,332	35.3	20.9	257	185	72.0	22.4
H21年度	3,704	1,286	34.7	21.5	227	158	69.6	28.6
H22年度	3,604	1,260	35.0	22.6	169	117	69.2	28.0
H23年度	3,521	1,223	34.7	23.5	185	104	56.2	26.7
H24年度	3,491	1,130	32.4	24.0	147	116	78.9	28.7
H25年度	3,342	1,199	35.9	24.7	161	107	66.5	28.6

◎健診受診者の有所見状況

健診は受診率が高ければよいのではなく、受けた結果が重要です。健診受診者の有所見（受診勧奨値）をみると、血管を傷つける血圧、HbA1c（血糖値）、LDL（コレステロール）の有所見率は下がってきていますが、全国や全道、同規模市と比較するとまだ有所見者が多い状況です。重症な生活習慣病（脳血管疾患、心血管疾患等）の発症基盤ともなるメタボ、肥満に関する所見は治療するだけでは解決が困難であることもわかってきています。特に男性は若い年代から発症し、症状もなく進行するので、健診で確認して生活改善で是正していくことが重要です。

項目	内臓脂肪・インスリン抵抗性								血管を傷つける						腎機能障害					
	メタボ 該当者		メタボ 予備軍		腹囲		中性脂肪		HDL		血圧		HbA1c		LDL		尿蛋白		GFR	
					男性85cm以上	女性90cm以上	300 以上		35 以上		II 度以上	6.5 以上	140 以上		+2 以上		50 未満 (70 歳以上 40 未満)			
人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%	
H20年度	298	22.4	118	8.9	441	33.1	23	1.7	12	0.9	180	13.5	167	12.5	499	37.5	8	0.6	23	1.7
H21年度	271	21.1	129	10.0	433	33.7	22	1.7	21	1.6	165	12.8	124	9.6	354	27.5	7	0.5	18	1.4
H22年度	181	14.4	145	11.5	363	28.8	21	1.7	11	0.9	106	8.4	68	5.4	333	26.4	9	0.7	39	3.1
H23年度	197	16.1	140	11.4	368	30.1	27	2.2	9	0.7	154	12.6	84	6.9	351	28.7	9	0.7	32	2.6
H24年度	165	14.6	131	11.6	333	29.4	15	1.3	7	0.6	118	10.4	74	6.5	349	30.9	4	0.4	34	3.0
H25年度	192	16.0	151	12.6	391	32.6	28	2.3	11	0.9	103	8.6	89	7.4	346	28.9	7	0.6	32	2.7

◎1人でも多くの受診を!

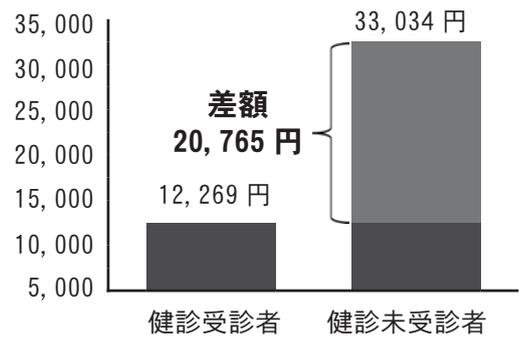
市の年度ごとの男女別、年代別受診率をみると40～50代の受診率が低いのが現状です。

医療費の面からみても、健診を受けて早めに治療するのと重症になってから治療するのではかなりの差があり、実際に健診受診者と未受診者では医療費に20,765円の差があります。

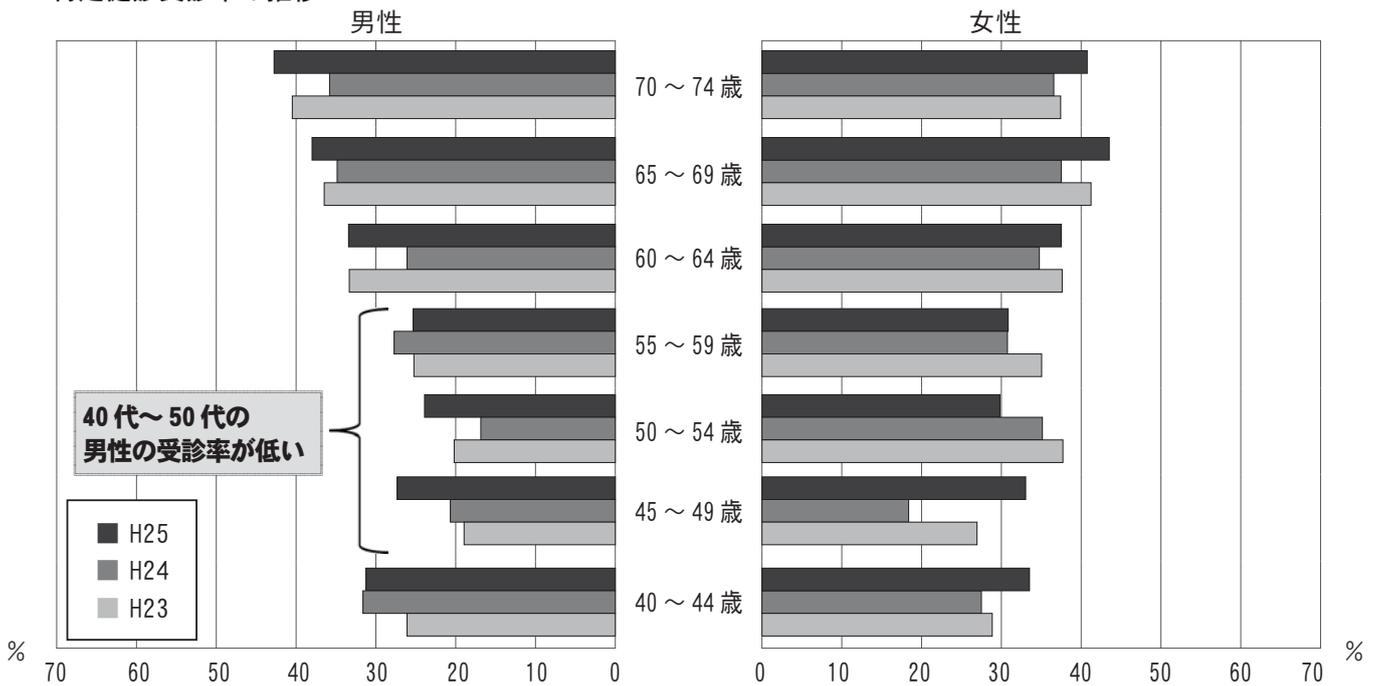
また、健診受診率が高い市町村では1人当たりの医療費が低くなるという相関関係もあります。

健診受診率の向上とあわせて、その後の保健指導によるデータの改善、必要な医療への受診勧奨、治療効果を高めるための生活改善指導を実施し、あわせて治療や健診を中断しないように支援することで、自分の健康状態を把握できる人を増やしていきます。

健診受診者・未受診者における生活習慣病等の1人当たりの月額医療費円



●特定健診受診率の推移



◆対象（砂川市国保加入者）

- ・40～74歳の方（昭和16年4月1日～同51年3月31日生まれ）
- ・75歳になる方（昭和15年4月1日～同16年3月31日生まれ）⑤健診日時点74歳の方のみ

※ 上記対象者には個別に案内が届きます。また、市では独自に20～39歳の方（昭和51年4月1日～平成8年3月31日生まれ）にも健診を実施しています

◆日程

6月16日(火)～22日(月)（土・日曜日も含む7日間）

例年どおり10月7日(木)～9日(土)にも実施しますので、忘れずに受診しましょう。10月の健診の詳細は、後日広報すながわでお知らせします。

●健診内容・料金

◆受付時間

- ・午前6時～7時
- ・午前7時～8時
- ・午前8時～9時
- ・午前9時～10時
- ・午前10時～11時

◆定員 各時間帯25人(先着)

◆会場 ふれあいセンター

◆申込期間

5月1日(金)から
(各時間定員になりしだい締め切ります)

◆詳細・申込

ふれあいセンター⑤2000へ

	20～39歳	40～74歳	料金
特定健診	問診、身体計測(身長・体重・腹囲)、血圧測定、尿検査(糖・蛋白・潜血)、血液検査(脂質・肝機能・血糖値)		自己負担 1,000円
市独自項目	クレアチニン・尿酸・eGFR(腎機能) 貧血	左記に加えて心電図・眼底検査	
がん検診	対象となりませんので、受診できません	胃がん	1,000円
		肺がん(65歳以上の方は結核健診を兼ねています)	300円
		喀痰 <small>かたん</small>	550円
		大腸がん	500円
		前立腺がん(50歳以上)	1,000円